

**【表紙】**

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和元年5月15日
【会社名】	サンバイオ株式会社
【英訳名】	SanBio Company Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森 敬太
【本店の所在の場所】	東京都中央区明石町8番1号
【電話番号】	(03)6264-3481(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理部長 角谷 芳広
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区明石町8番1号
【電話番号】	(03)6264-3481(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理部長 角谷 芳広
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、2019年5月14日（火）開催の取締役会において、当社普通株式について、欧州及びアジアを中心とする海外市場（ただし、米国及びカナダを除く。）における募集による新株式発行（以下「本海外募集」という。）を決議し、これに従って当社普通株式の募集が開始されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号の規定に基づき、同日付で臨時報告書を提出しておりますが、2019年5月14日（火）に、本海外募集の募集条件その他本海外募集に必要な事項が決定されましたので、これらに関する事項を訂正するため、金融商品取引法第24条の5第5項及び同項により準用される同法第7条第1項の規定に基づき、本臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正内容】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で示しております。

### (3) 発行価格（募集価格）

（訂正前）

未定

（日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式と同様のブックビルディング方式により、2019年5月14日（火）から2019年5月15日（水）までの間のいずれかの日（以下「発行価格等決定日」という。）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（当日に終値のない場合は、その日に先立つ直近日の終値）に0.90～1.00を乗じた価格（計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てる。）を仮条件として、需要状況等を勘案した上で、発行価格等決定日に決定する。）

（訂正後）

3,712円

（本海外募集における1株あたりの発行価格（募集価格）である。なお、発行価額との差額は、引受人の手取金となる。）

### (4) 発行価額

（訂正前）

（会社法上の払込金額）

未定

（日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式と同様のブックビルディング方式により、発行価格等決定日に決定する。）

（訂正後）

3,548.80円

### (5) 資本組入額

（訂正前）

未定

（1株当たりの増加する資本金の額であり、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額（計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げる。）を上記(2)に記載の発行数で除した金額とする。）

（訂正後）

1,774.40円

### (6) 発行価額の総額

（訂正前）

未定

（訂正後）

7,097,600,000円

(7) 資本組入額の総額

(訂正前)

未定

(会社法上の増加する資本金の額であり、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。)

(訂正後)

3,548,800,000円(増加する資本準備金の額は3,548,800,000円)

(12) 提出会社が取得する手取金の  
総額並びに用途ごとの内容、  
金額及び支出予定時期

(訂正前)

手取金の総額

(イ) 払込金額の総額 7,367,200,000円(見込)

(ロ) 発行諸費用の概算額 50,000,000円(見込)

(ハ) 差引手取概算額 7,317,200,000円(見込)

なお、払込金額の総額は、発行価額の総額と同額であり、2019年5月13日

(月)現在の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

手取金の用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

上記差引手取概算額7,317,200,000円については、日本市場に加え欧米市場でのSB623の販売需要を見越し、SB623の量産化能力の向上と安定供給体制確保のための製造委託先企業の複線化を図るため、当社がSB623の製造を委託し、同時に製造管理体制を整えるための業務委託費用として、2024年1月までに充当する予定です。

このSB623の製造委託先企業複線化は、当社が複数の製造委託先企業に生産技術移転を行い、当該製造委託先企業が製品基準を満たす品質を確保しながら、安定的にSB623を製造することを目的としています。

当該体制を構築する過程で生産されたSB623は、当社の在庫となる予定ですが、これらはまずは本邦国内の外傷性脳損傷用途として販売される予定です。

(訂正後)

手取金の総額

(イ) 払込金額の総額 7,097,600,000円

(ロ) 発行諸費用の概算額 50,000,000円

(ハ) 差引手取概算額 7,047,600,000円

手取金の用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

上記差引手取概算額7,047,600,000円については、日本市場に加え欧米市場でのSB623の販売需要を見越し、SB623の量産化能力の向上と安定供給体制確保のための製造委託先企業の複線化を図るため、当社がSB623の製造を委託し、同時に製造管理体制を整えるための業務委託費用として、2024年1月までに充当する予定です。

このSB623の製造委託先企業複線化は、当社が複数の製造委託先企業に生産技術移転を行い、当該製造委託先企業が製品基準を満たす品質を確保しながら、安定的にSB623を製造することを目的としています。

当該体制を構築する過程で生産されたSB623は、当社の在庫となる予定ですが、これらはまずは本邦国内の外傷性脳損傷用途として販売される予定です。

以上